

明治大学公共政策大学院

シンポジウム

スポーツイベントと地域創生

2019.9/22 sun

14時00分～17時00分[開場:13時30分]

会場 明治大学駿河台キャンパス
リバティタワー1階リバティホール

定員 350名(先着順)

参加費 無料



開会挨拶	源 由理子 (明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科長)
基調講演	【テーマ】 スポーツイベントがもたらす経済的効果、そして元気になる街 上條 典夫 (株式会社電通執行役員、ガバナンス研究科特別招聘教授)
パネル ディスカッション	【テーマ】 スポーツイベントと地域創生 《パネリスト》 青木 尚二 (株式会社JTB執行役員) 荻原 健司 (スキー・ノルディック複合金メダリスト) 加藤 久 (FC町田ゼルビアアカデミーみらいプロジェクトコーディネーター、認定NPO法人ヴィクサーレススポーツクラブ理事長) 《モデレーター》 上條 典夫 (株式会社電通執行役員、ガバナンス研究科特別招聘教授) 《総合司会》 西出 順郎 (明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授)

お申し込み方法

参加を希望される方は、次のURL又はQRコードから専用フォームにアクセスの上、お申し込みください。

(URL) <https://forms.gle/xDP5p9tQhYp3RCRZ8>

同日12時30分から公共政策大学院ガバナンス研究科オープンキャンパスを開催します。公共政策大学院に進学をご検討されている方は、ぜひご参加ください。シンポジウムの専用フォームからお申し込みください。(片方のみの参加可)

スマートフォン等で
読み取りください





青木 尚二（株式会社JTＢ執行役員）

1957年生まれ、明治大学商学部卒業。1981年（株）日本交通公社入社。1994年JTＢ中国四国営業本部勤務。FIパシフィックグランプリ観客輸送業務、広島アジア大会バス輸送業務を担務。2001年（株）ジェイコム出向。11世界同時多発テロ直後に開催されたWTO（世界観光大臣会議）総会の運営に従事。2002年FIFAワールドカップ大会会場・交通輸送業務に従事。2005年愛知万博会場外輸送施設運営業務に博覧会協会職員として従事。2006年分社化に伴い、（株）JTＢ中国四国本社営業部長、2013年（株）JTＢ中国四国代表取締役社長、2015年（株）JTＢ執行役員 東京オリンピック・パラリンピック推進担当。



荻原 健司（スキー・ノルディック複合金メダリスト）

五輪・世界選手権で活躍し、ワールドカップでは日本スキー界初の年間総合優勝に輝き、その後、3連覇の偉業を成し遂げる。後に荻原封じとささやかれるルール改正があったほど、無類の強さを誇った。引退後、参議院議員選挙全国比例代表区で当選。スポーツ政策を柱に精力的に活動し、1期務めた。その後、自身が在籍した北野建設に復帰し、スキー部ゼネラルマネージャーとしてノルディック複合20年ぶりの五輪メダリストを輩出するなどトップ選手の育成にあたった。現在は自身が代表を務めるスキーアカデミーにて、ジュニア世代へのスキージャンプ競技普及に尽力している。



加藤 久（FC町田ゼルビアアカデミーみらいプロジェクトコーディネーター、認定NPO法人ヴィクサーレススポーツクラブ理事長）

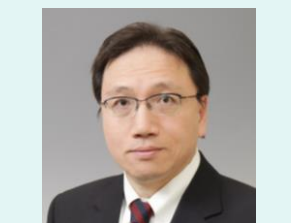
1956年宮城県生まれ。小学校5年生の時にサッカーを始める。1978年大学3年次、日本代表に初招集される。1980年読売サッカークラブ（現：ヴェルディ川崎）に入団し、5度の日本リーグ優勝に貢献。数々のワールドカップ、オリンピックアジア予選に出場し、1984年から1987年日本代表の主将を務めた。また、選手として活躍する一方、研究活動にも従事し、早稲田大学で専任講師、助教授として教鞭を執った。現役引退後、日本サッカー協会強化委員長、ヴェルディ川崎監督、湘南ベルマーレ監督、ジュビロ強化本部長兼ゼネラルマネージャー等を歴任し、現職。



上條 典夫（株式会社電通執行役員、ガバナンス研究科特別招聘教授）

大学卒業後、電通入社。新聞局ラジオテレビ局などを経て、1987年、電通総研設立と同時に移り、地域開発などのプロジェクトを多く担当する一方、スポーツマーケティングの研究を進める。2020年東京オリンピック・パラリンピック、2025年大阪・関西万博の招致に参画し、現在もその関連作業に従事している。著書に「ソーシャル消費の時代」（講談社）、「スポーツ経済効果で元気になった街と国」（講談社）などがある。経済同友会幹事、サイトウ・キネン財団理事。

モデレーター



西出 順郎（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授）

福井県職員、琉球大学大学評価センター准教授、岩手県立大学総合政策学部教授を経て、現職。学術修士（経済学）・行政学修士、博士（公共経営）。総務省政策評価に関する有識者懇談会構成員、同省行政事業レビュー外部有識者会合構成員、文部科学省生涯学習調査官、日本評価学会副会長。専門は政策評価および公共経営。

総合司会

公共政策大学院ガバナンス研究科のカリキュラム・入学試験情報

ガバナンス研究科は、公共政策に関する課題発掘・立案・決定・評価に至る一連の政策形成過程に基づく科目編成を行っています。とりわけ、政策の展開過程における政治・行政学的見地、法律的一貫性、経済学的能率性ととも、環境・資源問題を含めて国際的見地を重視しています。政治・行政、経済・財政、法律の3分野を基幹科目群として配置し、それらを具体的に把握、理解するための応用科目群として政策研究科目を豊富に配置し、ガバナンスをめぐる諸相の理解を目指します。さらに、政策の対外発表能力涵養のための演習科目を配置しています。

I 期入試（2020年4月入学）

出願期間 2019年10月11日（金）～10月21日（月）
試験日 2019年11月 9日（土）
合格発表 2019年11月12日（火）

II 期入試（2020年4月入学）

出願期間 2020年1月10日（金）～1月20日（月）
試験日 2020年2月 8日（土）
合格発表 2020年2月12日（水）

※9月入学も実施しています。また、全課程を英語で実施するイングリッシュ・トラックも設置しています。